

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成20年4月24日(2008.4.24)

【公開番号】特開2006-285706(P2006-285706A)

【公開日】平成18年10月19日(2006.10.19)

【年通号数】公開・登録公報2006-041

【出願番号】特願2005-105594(P2005-105594)

【国際特許分類】

G 0 6 Q 50/00 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 17/60 1 2 6 W

【手続補正書】

【提出日】平成20年3月10日(2008.3.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

1 種類以上の食品の名称及び前記食品毎に予め設定された所定摂取量に対応するエネルギー値を記憶する食品エネルギー記憶手段と、

前記食品の名称，前記食品毎の摂取量を変更する単位期間，特定の開始時点に対して前記単位期間あたりに変更する前記食品の摂取量を示す食品摂取増減量，前記開始時点から前記摂取量の変更を継続する継続期間，の入力を受け付ける入力手段と，

前記食品摂取増減量，前記単位期間，前記継続期間を用いて，前記継続期間あたりの前記食品の摂取量の変更に伴う前記エネルギー値の合計を摂取エネルギー差として算出する算出手段と，

前記摂取エネルギー差を表示する表示手段と，を有することを特徴とする健康管理支援システム。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の健康管理支援システムであって，

前記入力手段が前記摂取エネルギー差の目標となる目標摂取エネルギー差の入力を受け付け，予め順序付けられた 1 種類以上の前記食品の名称を記憶する食品抽出順序記憶手段と，前記目標摂取エネルギー差に応じて前記順序に従って前記食品，前記食品摂取増減量，前記単位期間を抽出する抽出手段と，を有し，

前記表示手段が前記抽出手段で抽出された前記食品，前記食品摂取増減量，前記単位期間を表示することを特徴とする健康管理支援システム。

【請求項 3】

請求項 1 または請求項 2 に記載の健康管理支援システムであって，前記算出手段が，予め設定された人体内の脂肪の単位量あたりのエネルギーを示す脂肪エネルギーを用いて，前記摂取エネルギー差を体重変化量に，前記目標摂取エネルギー差を目標体重変化量に，それぞれ換算し，前記入力手段が前記目標体重変化量の入力を受け付け，前記表示手段が前記体重変化量を表示する，ことを特徴とする健康管理支援システム。

【請求項 4】

1 種類以上の運動の名称，前記運動毎に予め設定された所定の運動量と当該運動量において消費されるエネルギーを示す運動エネルギー，を記憶する運動エネルギー記憶手段と，前記運動の名称，前記運動毎の実施量を変更する単位期間，特定の開始時点に対して前記

単位期間あたりに変更する前記運動の実施量を示す運動実施増減量，前記開始時点から前記実施量の変更を継続する継続期間，前記開始時点における体重，の入力を受け付ける入力手段と，前記運動実施増減量，前記単位期間，前記継続期間，前記開始時点における体重を用いて，前記継続期間あたりの前記運動の実施量の変更に伴う前記運動エネルギーの合計を消費エネルギー差として算出する算出手段と，前記消費エネルギー差を表示する表示手段と，を有することを特徴とする健康管理支援システム。

【請求項 5】

請求項 4 に記載の健康管理支援システムであって，前記入力手段が前記消費エネルギー差の目標となる目標消費エネルギー差の入力を受け付け，予め順序付けられた 1 種類以上の前記運動の名称を記憶する運動抽出順序記憶手段と，前記目標消費エネルギー差に応じて前記順序に従って前記運動，前記運動実施増減量，前記単位期間を抽出する抽出手段と，を有し，前記表示手段が前記抽出手段で抽出された前記運動，前記運動実施増減量，前記単位期間を表示することを特徴とする健康管理支援システム。

【請求項 6】

請求項 4 または請求項 5 に記載の健康管理支援システムであって，前記算出手段が，予め設定された人体内の脂肪の単位量あたりのエネルギーを示す脂肪エネルギーを用いて，前記消費エネルギー差を体重変化量に，前記目標消費エネルギー差を目標体重変化量に，それぞれ換算し，前記入力手段が前記目標体重変化量の入力を受け付け，前記表示手段が前記体重変化量を表示する，ことを特徴とする健康管理支援システム。

【請求項 7】

請求項 1 に記載の健康管理支援システムであって，請求項 4 に記載の特徴を有し，前記算出手段が前記摂取エネルギー差と前記消費エネルギー差の合計を総エネルギー差として算出し，前記表示手段が前記総エネルギー差を表示する，ことを特徴とする健康管理支援システム。

【請求項 8】

請求項 7 に記載の健康管理支援システムであって，前記入力手段が前記総エネルギー差の目標となる目標総エネルギー差の入力を受け付け，予め順序付けられた 1 種類以上の前記食品及び運動の名称を記憶する食品運動抽出順序記憶手段と，前記目標総エネルギー差に応じて前記順序に従って前記食品，前記食品摂取増減量，前記運動，前記運動実施増減量，前記単位期間を抽出する抽出手段と，を有し，前記表示手段が前記抽出手段で抽出された前記食品，前記食品摂取増減量，前記運動，前記運動実施増減量，前記単位期間を表示することを特徴とする健康管理支援システム。

【請求項 9】

請求項 7 または請求項 8 に記載の健康管理支援システムであって，前記算出手段が，予め設定された人体内の脂肪の単位量あたりのエネルギーを示す脂肪エネルギーを用いて，前記総エネルギー差を体重変化量に，前記目標総エネルギー差を目標体重変化量に，それぞれ換算し，前記入力手段が前記目標体重変化量の入力を受け付け，前記表示手段が前記体重変化量を表示する，ことを特徴とする健康管理支援システム。

【請求項 10】

請求項 3 または請求項 6 または請求項 9 に記載の健康管理支援システムであって，前記入力手段が前記開始時点における体重の入力を受け付け，前記算出手段が前記開始時点における体重と前記体重変化量を用いて前記継続期間の終了時点における予測体重を算出し，前記表示手段が前記開始時点における体重と前記予測体重を表示する，ことを特徴とする健康管理支援システム。

【請求項 11】

請求項 3 または請求項 6 または請求項 9 に記載の健康管理支援システムであって，前記入力手段が前記開始時点よりも過去の時点における体重と前記開始時点における体重の入力を受け付け，前記算出手段が，前記過去の時点における体重，前記開始時点における体重，前記体重変化量，を用いて前記継続期間の終了時点における予測体重を算出し，前記表示手段が，前記過去の時点における体重，前記開始時点における体重，前記予測体重，を

表示する，ことを特徴とする健康管理支援システム。

【請求項 1 2】

請求項 1 0 または請求項 1 1 に記載の健康管理支援システムであって，前記表示手段が，前記開始時点における体重と前記予測体重をグラフ形式で表示する，ことを特徴とする健康管理支援システム。

【請求項 1 3】

1 種類以上の食品の名称，前記食品毎に予め設定された食品単位量，前記食品毎に含まれる 1 種類以上の栄養成分の名称，前記食品毎に前記食品単位量あたりに含まれる前記栄養成分の量を示す栄養成分値，を記憶する食品栄養成分記憶手段と，前記食品の名称，前記食品毎の摂取量を変更する単位期間，特定の開始時点に対して前記単位期間あたりに変更する前記食品の摂取量を示す食品摂取増減量，前記開始時点から前記摂取量の変更を継続する継続期間，の入力を受け付ける入力手段と，前記食品摂取増減量，前記単位期間，前記継続期間を用いて，前記継続期間あたりの前記食品の摂取量の変更に伴う前記栄養成分毎の前記栄養成分値の合計を摂取栄養成分量差として算出する算出手段と，前記栄養成分毎に前記摂取栄養成分量差を表示する表示手段と，を有することを特徴とする健康管理支援システム。